

## 「親子で参加！PTA Web 講演会」のご報告

### (1)講演について

- ・ 題目：親子で学ぼう～スマホ・SNSを安全に利用するために～
- ・ 講師：J:COM 情報リテラシーアドバイザー 栗津千草様
- ・ 参加者：13 家庭(内、親子で参加 11 名、親のみ参加 2 名)
- ・ 内容 以下参照

### 【ゲーム依存症】

ゲームには年齢別レーティングマークが表示され、「ABCDZ」で表示される。

A:全年齢対象・B:12 歳以上・C:15 歳以上・D:17 歳以上・Z:18 歳以上。

#### ●ゲーム依存の傾向とは(WHO でもゲーム依存症は病気と認定)

- ゲームをしないとイライラする
- ゲームをすると他の事ができなくなる
- ゲームをしていると食事をするのが嫌になる
- 入浴するのが嫌になる
- 寝る時間が遅くなる
- 翌日の朝、起きるのが嫌になる

軽症状のうちに日常生活を見直す事が大事である。ゲーム以外の事に目を向けられるように、親子のコミュニケーションをとることが大事である。

### 【コメント欄への書き込み】

- 誹謗中傷の書き込みをしない。相手を傷つける言葉は犯罪となる事がある。誰が書き込んだかは特定される。(刑法 230 条:名誉毀損 刑法:231 条侮辱罪)

### 【増加している少年事件】

ネットの普及によって、今までは接触しにくかった他者と繋がりやすくなった。それにより、大麻事件の検挙者が増加。インターネットにより色んな人と繋がるができるが、どんな人と繋がるのかよく考える必要がある。

### 【なりすまし不正アクセス】

- 他人の ID・PW は使わない。「不正アクセス禁止法」などで 16 歳の少年が逮捕となっている。
- 個人のスマホの管理をしっかりと行う
  - ・ 学校のタブレットでは、学校のルールに従って管理する。
  - ・ スマホを他人がいるところに、置き去りにしない。肌身離さずに持ち歩く。
- パスワードも強いものにする
  - ・ 家の中でしか使わないものであれば、PW コード設定は不要。持ち出すことがあれば PW コードを設定し、親子で把握しておく
  - ・ PW 強いかチェック(以下の内容が含まれると良い)
    - 名前などの個人情報から推測できない
    - 英単語などのそのまま使用していない
    - アルファベットと数字、両方使っている
    - 適切な長さの文字列(13 文字以上)である
    - 類推しやすい並び方や安易な組み合わせではない
    - 使い回しをしていない(1 番危険である)

## 【写真・動画と責任】

写真・動画を撮影・UPするときには責任が発生し、また責任は重いものである。

- 盗撮にならないようにするためには、「撮っていい？」と相手に聞く。
- 撮影して良い場所かどうかの確認も必要  
5年後10年後も残り続ける=進学・就職に影響がする可能性もある。
- 写真・動画からストーカー事件などで被害になる可能性もある

## 【お金の扱い方】

子どもがゲームなどで課金した場合、現金で親に支払ってもらう方法がおすすめである。どれだけの金額を使ったのかを明確にし、実感を伴った金銭管理感覚が養われる。また、いくら使ったのかわかりやすくなる。

## 【まとめ】

親子でのコミュニケーションが1番大事である。親子でどんなゲームを楽しんでいるのかなどの会話が進めば、インターネットがもっと楽しいものになり、また依存症へのストッパーに繋がっていく。

これからも発達していくインターネットを上手に取り扱っていくのが、情報リテラシーにつながる。自分自身・家族・友達が、幸せになれるものとして使えているのか確認していくことが振り返りつつ使っていくことが大事である。

## 【質問】

①LINEには、送信取り消し機能があるが、送信した履歴が自分の画面上消せる機能がある。仮に、訴えられた場合は、取り消された内容まで全て開示されるか？

(講師より回答)

内容は開示されない事の方が多い。それはプライバシーを守るためである。サービスを提供している会社の中でも中身が見られないように暗号化されている場合が多い。もし、自分が傷つけられるような内容が送られてきた場合には、スクリーンショットなどで記録し証拠として相手と交渉材料とすることを勧める。しかし、「送信しました」の履歴は残る。履歴の有無はLINE会社より提示してもらう事は可能であるが、その内容に関しては見られない事の方が多い。LINE会社以外のものであっても、同様に自身で記録しておく必要がある。また、各会社によってログを残す期間が異なり、永久に残っているものでない。

もし、何かあったときには訴える、訴えないは別として、早めにその会社に連絡する事を勧める。

②インスタ・ツイッターなどの子どものアカウントは、どのように把握・確認しているか？

(参加者より回答)

- ・アカウントは把握していない。
- ・自分は確認していないが、他の保護者から聞くことがある
- ・親に見られて困る内容を送っている等があれば、使い方として間違っているのではスマホ没収としている。  
等の意見あり。

(講師より回答)

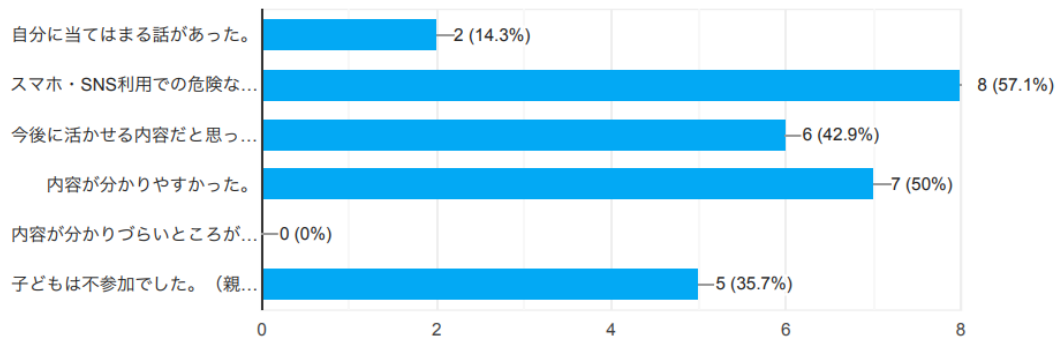
親子の信頼関係が大事である。最初に親が子どもを信頼することが難しいが大事である。

子どものスマホ利用に関して指摘したい気持ちがあるが、子どもが気付いて自分から行動に変えられるようにするまで親側は我慢することは難しい事であるが大事なことがある。

【アンケート結果】 14/13 家庭(1 家庭 2 台使用での参加) 回答率:100%

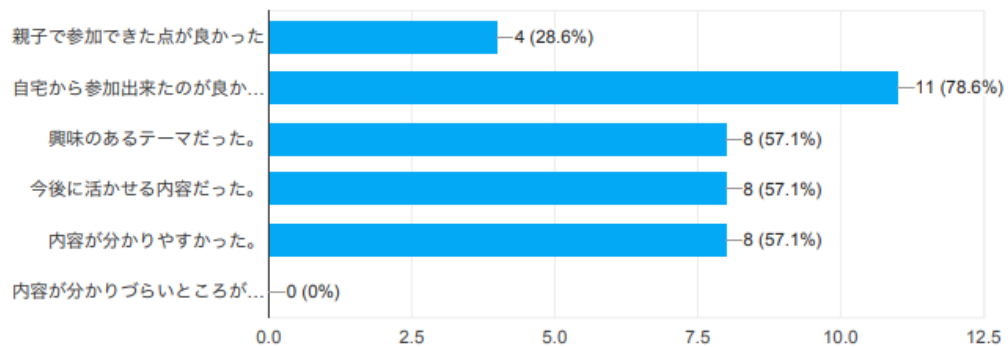
### 1. 講演会について、お子さんの感想をお聞かせください。(複数回答可)

14 件の回答



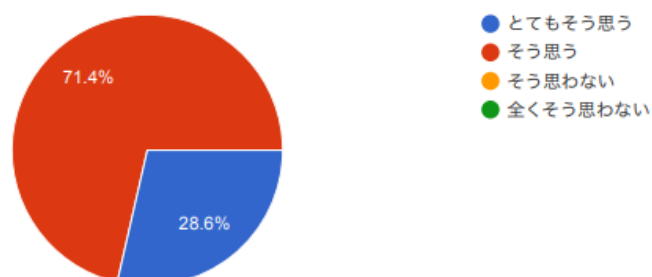
### 2. 本日の講演会についてどのように思われましたか？(複数回答可)

14 件の回答



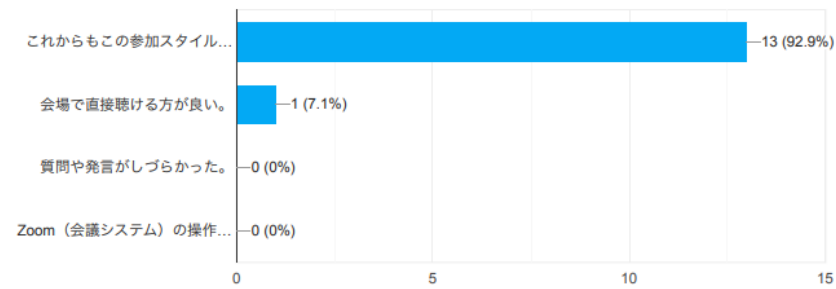
### 3. 講演会を聴いたことで、今後も親子でスマホやSNSの事を話すキッカケになりそうですか？

14 件の回答



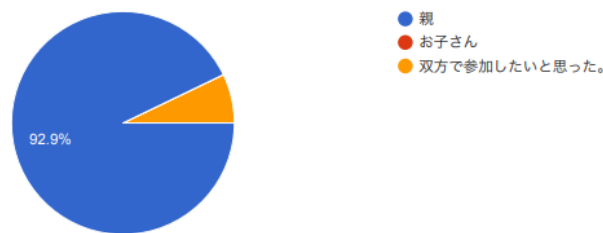
4. 学校のiPadを使ってご家庭からWeb参加するスタイルについて、どのように思われましたか？（複数回答可）

14件の回答



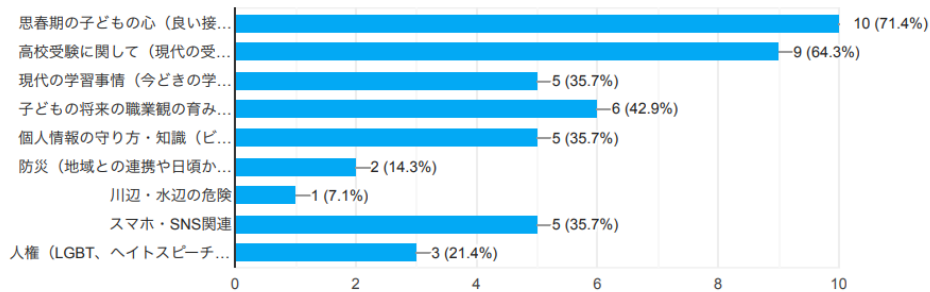
5. この講演会の参加を決めた人はどちらですか？

14件の回答



6. 来年度以降に希望する講演内容をお聞かせください。（複数回答可）

14件の回答



7. ここまでの質問で選択肢に無かったものや詳細、その他ご意見など、ご自由に記入ください。

3件の回答

他の人の意見が聞けたりしたのが良かった。  
もう少し参加人数が増えて、もっといろいろな保護者さんの意見も聞けると良いなあと思った。

スマホやSNSの使い方について考える良い機会になったと思います。ありがとうございました。

画面に写真や文字をおこしてくださり、分かりやすく、Zoom講演会、とても良かったです。